

# SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・  
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

**NPO法人 地域福祉サポートちた**

## も く じ

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 支える人を支えるまちへ……………1P    | <input type="checkbox"/> 連携・協働のためのコーディネート<br>専科「参加to実践」…3P |
| <input type="checkbox"/> 高校生介拓アワード2023……………2P  | <input type="checkbox"/> 強度行動障害講師紹介……………3P                 |
| <input type="checkbox"/> 県内支援センター交流会……………2P    | <input type="checkbox"/> インフォメーション……………4P                  |
| <input type="checkbox"/> サービスラーニング意見交換会……………2P |  |

## 支える人を支えるまちへ

日本福祉大学教員の皆様が分担執筆された『「0から100歳の地域包括ケア」への挑戦—大学と地域の協働研究—』の出版記念公開研究会が3月18日、同大東海キャンパスにて開催されました。

2017年10月～2019年9月の2か年にわたって、日本生命財団特別研究事業を受託された日本福祉大学が地域ケア研究推進センターを開設、知多半島の地域生活課題に即した13のプロジェクトを立ち上げられました。コロナ禍による中断もありながら、プロジェクトを7つに再編した2021年度以降も実践課題を解決するためのシステム開発型アクションリサーチを進められ、その成果がこの一冊にまとめられています。この日は、協働研究者のNPO・社協・自治体職員の事例発表もあり、地域研究にふさわしい内容でした。これからも自己完結しない、つながりづくりを拡げるためには、心の内側から湧き出る「ワクワク」を仕掛け続けることが私たち“市民の挑戦”ではないでしょうか。

今年度は“支える人を支えるまちへ”に挑戦します。昨年11月の生活困窮者自立支援全国研究交流会での基調講演『今一度「支援」とは何かを考える—対話とつながりをヒントにして—』や分科会4『北海道における支援者支援』での学びの影響が大きいのですが、多様な主体が緩やかに連携する前述のプロジェクトや介拓奨学生プログラムのように、それぞれの持ち味を活かしたまちづくりを考えていたところ、今年度のNPOと行政との意見交換会にご講演いただきます長坂宏さん（社会福祉法人新城福祉会 理事長）の共著『「支える人を支える」まちを創る—福祉従業者がやりがいを持って働き続けることができるまちづくり条例（新城市）の意義・展望—』に出会いました。今回は、福祉従事者を支える条例策定のプロセスの勘どころを自治体職員・社協・NPOの関係者の皆様と学び、知多の未来に向けて対話できる機会になれば幸甚です。市野恵

「福祉」と言う言葉からあなたは何を連想しますか？

弱者のためのもの？ 社会保障？ 介護？

「福祉」は私たち人間が人間らしく生きるため、自分らしく生きるため、誰もが幸せになるために必要なものです。NPO法人地域福祉サポートちたは、誰もが自分が望んでいる地域で、自分らしく生き、心豊かに、幸せに暮らしていけるそんな地域づくりを目指しています。

私らしく生きるには何が必要か？

誰かの役に立つには何をすればいいか？

できることから、気づいた人から、

その思いを形にと一人ひとりが活動に参加し

新しい想い、新しい価値、新しい活動を生み出し

私たちは地域に住む市民として、NPOで活動する仲間として

ともにまちを育て、人と育ちあう

そんな存在でありたいと思っています。

「サポートちた宣言」より

### ◆◆通常総会のご案内◆◆

日にち 2024年5月27日(月)

会場 知多市市民活動センター2階・会議室

内容 ①通常総会 10時～11時30分

②会員交流会(軽食付) 11時30分～13時

③NPOと行政との意見交換会

13時30分～15時30分

※詳細につきましては、同封のチラシをご参照ください

【会員種別(現在の会員数):年会費】

○正会員(58) 団体(29):15,000円/個人(29):5,000円

○準会員(55) 団体(24): 5,000円/個人(31):3,000円

【振込先】

三菱UFJ銀行 知多支店(普)1413965

特定非営利活動法人地域福祉サポートちた

## ■高校生介拓アワード2023

介拓奨学生プログラムに奨学生として参加した高校生が、これまでの学びや経験を発表する場「高校生介拓アワード2023」が（公財）あいちコミュニティ財団主催で3月20日、日本福祉大学東海キャンパスにて開催された。参加者63人が、奨学生6人の発表に耳を傾けた。

発表では、「アルバイト先で、利用者の笑顔を見ることが嬉しい。大学で心理学を学び、生きづらさを抱える人をサポートしたい」、「友人に介護は向いていないと言われ不安だった。介拓で介護について前向きに話し合える仲間と出会い自信が持てた。将来は自分で介護施設を立ち上げたい」など、プログラムから得た成長の様子と新たな目標が語られた。審査の結果、最優秀賞は鈴木花歩さん（高3）、優秀賞は桜井一成さん（高3）、伊藤大貴さん（高2）がそれぞれ受賞した。

奨学生と参加者との座談会では、「高校生を事業所に受け入れることで、スタッフの刺激になっている」「不登校だった子が、今はアルバイトで経験を積むことができ、介拓との出会いに感謝している」という保護者の声もあった。



奨学生と参加者の集合写真

閉会后、研修で出会った仲間やお世話になった講師たちも応援に駆けつけ、励まし合う様子が見られた。再会を喜べるあたたかい場が、高校生の成長につながっている。引き続き、夢や目標に向かって頑張りたい。（山森）

## ■県内支援センター交流会

3月4日、県内の市民活動センタースタッフと市民協働担当職員36人が参加し、知多市市民活動センターにて交流会を行った。この交流会は、これからのセンターに求められる役割について学び合うことを目的に、センター職員有志が中心となり、毎年開催している。

今年は、あいち協働ルールブックの策定から20



協働について話し合う様子

年を迎えるにあたり、改めて【協働】をテーマに設定、各市町で実践した協働事例を持ち寄り、今後に活かせるような取り組みや協働を進める上で大切なことをディスカッションした。

グループ発表の一部を紹介すると、

- ・協働に対する理解と熱量が同じであること
- ・行政職員が協働に気づいていない例もある
- ・センター職員のコーディネート力が重要
- ・楽しんでこそ市民活動であり、気づいたら協働できているのが理想

市町によって特色や大小の違いはあるが、目指す社会像が同じであれば、協働が進んでいくことを確認した。

後日談だが、サポートしたと知多市市民協働課職員とふりかえりを行い、交流会で得た気づきを共有することができた。協働先ともコミュニケーションを密にすることが大切であり、広い視点で課題を捉え、地域に還元できるセンター運営を行っていきたい。（山森）

## ■サービスラーニング意見交換会

日本福祉大学サービスラーニング（以下、SL）の受入団体と担当教員を迎え、1月27日情報交換会を行った。16団体20人が参加した。教員の両角達平先生からは、「SLを知多半島のNPOや日福らしさで伝えていくこと、経済的障壁を下げ、学生や活動先の負担を減らし、ユースワーク的な関りが重要である」。また、菊池遼先生からは、「NPOセクター全体が少し苦しい時期だが、SLを通してNPOと大学が協働して地域を盛り上げたい。SLはやりたくてもできなかった事業に挑戦する機会になる」と提言された。

受入団体と教員との情報交換より、次の意見があがった。

- ・団体は自身の活動の意味を伝え続けることが重要
- ・5日間では、学生同士がコミュニケーションを取ることから始まるため、短く感じる。複数年度実施し、その後の研究まで関りが持てるとうい



意見交換会での交流の様子

- ・学生にもっと福祉に関心をもって欲しい。報告会后に学生と交流する場が欲しい
- ・現場での活動の目的や目標がもっと具体的にないと良い。活動後の現場へも来て欲しい

大学とNPOそれぞれから、カリキュラムの中でSLに取り組むことの難しさが語られた。今後も大学、団体と連携しながらコーディネートを進めていきたい。(山森)

## ■ 連携・協働のためのコーディネート専科 「参加to実践」

本事業は、(N) ボランティアネイバーズ、(N) ボラみみより情報局、当法人の三者で構成する、あいち協働事業サポートセンターが、愛知県の委託を受けて実施した。NPOと大学・企業など多様な主体との連携・協働を促進するため、行政職員や市民活動センター職員を主対象に、連携・協働を促進するコーディネーターに必要なスキルとノウハウの基本を現場体験を通じて学び、実務に活かすチカラを身につけるため、全5回の研修を行った。第1、2回は座学で基礎を学び、第3、4回では、「話し合いの場を企画・運営する」と、「多様な主体の連携・協働の輪に参加する」の2コースに受講生が分かれ、実際の協働現場を体験した。

当法人が担当した「話し合いの場を企画・運営」では、多様な人々が集まる、対話と交流の場「未来茶輪(ミライカフェ)」の場を借り、受講生11人は日常業務をこなしつつ、企画立案から講師との打ち合わせ、当日運営まで相互に連絡を取り合い、主体的に取り組んだ。

テーマ選定でお互いが抱える課題を出し合い、一つに絞り込む作業そのものが「話し合いの場」であった。もしも意見が多数に割れた場合の選定方法は、第2回の講義での学び「結論が出るまでのプロセスにお互いが納得していれば、自分の考えと異なった結論になったとしても、人は動くことができる」を生かし、受講生11人は多数決ではなく、対話を重ねながら進めた。「協働の小さな仲間づくりシート」を活用し、テーマを決めていく際は、課題となるポイントを絞り込み、それを全員で共有し、話し合いによって選定するプロセス



受講生が企画した「未来茶輪」の様子

を体験した。実際のまちづくりには正解がないものだからこそ、丁寧な対話が求められることを学んだ。

当日の「未来茶輪」は、「“つながりづくり”で地域活性化一人をどう巻き込むか」をテーマに、ゲスト講師の元東浦町長の神谷明彦氏より話題提供いただいた後、受講生が各テーブルのファシリテーターとして参加者との対話を円滑に進めることができた。1月16日の最終回では、受講生からは「実践の現場は臨機応変な対応が必要であることを学んだ」と感想があった。(安藤)

## 研修講師紹介

当法人主催の「強度行動障害支援者養成研修」は、現場で障害支援の実践者が講師として登壇しています。そんな講師陣の横顔をリレー形式で紹介します。今回は、NPO法人PakaPaka 理事長土肥克也さんです。(山森)



### 【団体の概要、仕事内容は？】

PakaPakaは半田市と武豊町に拠点を置き、就学前から高校生までの発達障がい児とその家族に対してABA(応用行動分析学)を主とした発達支援・家族支援を行っている団体です。

### 【現場支援で大切にしていることは？】

その子の今だけではなく、5年後、10年後どのような姿になれば、子どもも家族も笑顔で過ごせるかをイメージして支援しています。そのためあらゆることに興味や好きになってもらうことが大切だと思っています。

### 【受講生に持ち帰ってもらいたいことは？】

専門的な支援は難しいと思うことが多いと思いますが、ちょっとしたコツさえ掴めば、支援の際にどのように工夫するかが楽しくなります。苦手意識を持つのではなく、どこが楽しめるかを探してみてください。

### 【団体からのお知らせやメッセージ】

知多半島を中心に、支援者や保護者を対象にした発達支援の質にフォーカスした学びの機会を行政や他団体を交え提供していく予定です。気になる方はInstagramやFacebookを覗いて見て下さい。

# サポちた インフォメーション

会員のみなさまから集まる情報を掲載しています。お気軽に情報をお寄せください。

## ■助成金情報 赤い羽根共同募金 居場所を失った人への緊急活動応援助成第9回

新型コロナウイルスの影響の長期化等により、社会的孤立、居場所が失われた人や経済的困難に陥った人たちに対する支援活動を資金面から支援し、誰一人取り残さない地域・社会をつくることを目的として実施

〈助成対象〉・社会福祉・地域福祉の推進を目的とする非営利団体(法人格の有無は不問)  
・応募時点で団体が設立されており、助成対象活動(事業)の実施体制が整っていること

〈対象活動〉相談支援・居場所支援・居住支援・学習支援 他

〈選考方法〉審査委員会にて決定

〈応募方法〉応募書をHPよりダウンロードし、web応募フォーム「e応募」に応募書類を送信

〈HP〉<https://www.akaihane.or.jp/subsidies/sub-problem-solving/35916/>

〈応募締切〉2024年4月23日(火)必着

〈問合せ〉(社福)中央共同募金会 基金事業部

居場所を失った人への緊急活動応援助成担当宛

TEL:03-3581-3846(平日9:30~17:30)

メール kikin-oubo2@c.akaihane.or.jp

## ■(株)エヌ・エフ・ユー「リスクリングを通じた キャリアアップ支援事業」

新しく福祉業界の仕事にチャレンジしたい方、資格を取得してさらなるキャリアアップを目指したい方へキャリア相談、リスクリング講座、就職・転職までをトータルで支援するプログラムを提供する

【介護職員初任者研修通信課程】

〈日程〉4/11(木)~9/5(木)計17日間

〈会場〉日本福祉大学名古屋キャンパス

日本福祉大学中央福祉専門学校

〈受講料〉75,000円(税込)※補助制度あり

〈問合せ〉(株)エヌ・エフ・ユー 担当:中村

TEL:0569-47-6524



↑ 申込フォーム

## ■Amazonほしい物リストで被災地を応援!

ほしい物リストとは、自分のほしい商品をあらかじめ登録しておくことで、ほかの人に自分がほしい商品をお知らせできる機能のこと。避難所などで必要な商品と数量が登録された被災地ほしい物リストに公開された商品を購入すると、あらかじめお届け先として登録している住所に商品が配達される。

また、本プログラムによる支援を新規に希望する施設・団体の方は、Amazon「みんなで応援」プログラム参加施設エントリーページフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/42PYrTPzBgktpAJWA>

## ■利用者・スタッフ募集 (一社)oneness

(一社)onenessが運営する①就労継続支援B型『うらら』(障害を持った大人が、社会参加できるよう野菜パッキング、農業、公園の清掃等の仕事に従事することで工賃を生み出す支援)と、②放課後等デイサービス『ミソラ』(障害を持った小学生から高校生の能力が向上できるよう支援)では、福祉サービスの利用希望者を募集。社員・パートも同時募集中。詳細については、下記迄お問い合わせください。

〈問合せ〉(一社)oneness 担当:山本

〈住所〉南知多町内海西郷2-1 TEL:0569-89-8431

## ■手づくりカフェ Ada-coda 登録シェフ募集

手づくりカフェAda-codaは、初めてでも、安心して料理に専念することができるワンデイシェフ方式にて運営する。シェフとして登録すると、一日店長としてあなたが調理したランチ提供することができる。体験会に参加後、年間登録料2千円、食品衛生協会が実施する検便が必須。メニュー構成や料金設定等コーディネーターにご相談ください。

〈問合せ〉(N)地域福祉サポートちた 担当:安藤、落水

### ご入会ありがとうございます

準会員・個人 萩原 裕樹 様

準会員・団体 (一社)子どもねっこ育社 様

## サポートちた スタッフ募集中!

常勤職員を募集しています!

まちづくりに関心のある方、チームワークを大切にしてお仕事できる方、新卒・中途など経験は不問です。詳細はお問い合わせください。

担当/安藤

〒478-0047 愛知県知多市緑町12-1  
知多市市民活動センター1階  
Tel 0562-33-1631 Fax 0562-33-1743  
Email spchita@ams.odn.ne.jp  
HP <https://sunnyday-cfsc.ssl-lolipop.jp/>



特定非営利活動法人  
地域福祉サポートちた

